

伊豆の同期会旅行 2022



2022年10月

旅のチカラ研究所 植木圭二

会社同期入社の人たちとゴルフ&温泉の1泊2日の旅行に行ってきた。泊まった宿が私好みだったので、記録に残したく短いながらも旅行記を書いたので紹介したい。

■同期会

今から43年前、私は大学を卒業して電気メーカーに入社し、研究所に配属された。その研究所配属の同期の連中と毎年ゴルフ&温泉旅行に行くことが恒例になっている。

当初は会社の保養所を主な宿にしていたが、首都圏から近くゴルフもできる温泉地を訪れるようになった。例えば、千と千尋の神隠しのモデルになった宿「積善館」で宮崎駿が泊まった山荘、那須高原の「モンゴリアビレッジ・テングル」などにも泊まった。

今回は同期メンバーの1人が最近泊まった宿を紹介してくれた。彼は暖かみのあるオーナーとコストパフォーマンス抜群の宿だから皆に紹介したいと言っていたが、肝心の彼が仕事のために急遽不参加になった。その彼は会社を途中で辞めて父親の会社を継ぎ、今も社長をやっている。

参加メンバーの多くは定年退職して悠々自適な生活をおくっているが、その半分くらいは社長や役員の実験者で、昔の会社の同期入社の繋がりでも利害関係も全くなく、完全に現在進行形の人間関係が築かれているから面白い。

今回もいつものように皆でゴルフを楽しむ。当然のようにスコア度外視のゴルフだが、1人だけ前半で4オーバーという強者（つわもの）がいる。彼も先日まで社長をしていたが、現在はゴルフ三昧の生活をおくっている。熟年ゴルファーの憧れのエイジシュート（自分の年齢以下のスコアで上がること）に最も近い人間だろう。

■会員制リゾートハウス「エマーユ」

ゴルフを終えて伊豆の会員制リゾートハウス「エマーユ」にやって来る。簡単に言えばペンションなのだが、“一見さんお断り”の宿で会員制を名乗っているらしい。今回は友人のコネで私たちの宿泊が認められた。それ以外は「Airbnb」（世界の旅行者に宿を紹介するサイト）経由の予約で外国人観光客中心の宿になっている。



【エマーユの外観】

ドアを開けると少し年配の紳士、ここのオーナーが出迎えてくれる。1階の玄関ロビーの隣はホールになっておりグランドピアノが置かれている。バレエ練習用の棒もあり、小さなバレリーナの写真が飾られている。食堂にもアップライトのピアノがあり、音楽とバレエの家という雰囲気が感じられる。

2階には客室が8室あり、部屋に案内される。ペンションなのでベッドを想像していたが畳の和室に多少驚くが、おそらく外国人観光客が畳の部屋を喜ぶためだろう。



【1階のホール グランドピアノとバレエ練習用の棒が見える】



【1階の食堂 写真を撮っている後ろにピアノがある】

この宿は1日1組しかお客を泊めないので貸し切りになっており、夕食の時間も特に決まっていない。オーナーは「ゴルフ場でお風呂入ってきたのなら、やることないから直ぐに夕食ですか？」と聞いてくる。私たちは「そうしましょう」と答える。

夕食には地物らしい鯛の煮つけ、刺身、白子、メインの料理はビーフシチューでステーキ肉を使っているという。乾杯の後にシチューをいただくと、確かに肉は柔らかい。ソフトフランスパンとの相性も良い。ビールでの乾杯の後にはスパークリングワインも出てくる。ちょっとリッチな気分になる。



【夕食】

宿にはオーナー以外に人がいないようなので「オーナーおひとりですか？」と聞くと、「暇に任せて道楽でやっていますから」と答えてくれる。

確かに道楽と言えばそうだろう。その証拠に食堂には非常に高そうなオーディオセットがあり、あの名機 JBL の大きなスピーカーが置かれている。

そのオーディオセットをマジマジと見入っているのは、伊東に住む同期の友人だが、彼もオーディオマニアそして音楽大好きな輩だ。そんな彼とオーナーでオーディオ談議に花が咲いている。伊東に住む彼は伊豆フィルハーモニーの一員で、オーナーはその伊豆フィルハーモニーを時々指導しているという。実はオーナーはプロの演奏家で、当然彼はオーナーのことを知っていたが、オーナーは彼を知らない。その彼も指導者がここでペンションを開いていることは知らなかった。

そんな話で盛り上がっていたら、ありがたいことにオーナーが生演奏をしてくれるという。美味しいディナーにプロのクラリネット奏者の演奏付きというのは凄すぎる。

クラリネットの音色、響きが心の底の方に染み込んでいくように感じがする。やはり素晴らしい、の一言に尽きる。こんな近くで本物の音楽を聴くことができるとは、私たち一同は感激、そして大きな拍手をおくった。

■清々しい朝

翌朝、清々しい朝を迎える。食堂に行くと JBL のスピーカーからは FM ラジオのアナウンサーの声が流れており、その声は重低音がズシリと響いている。ラジオの内容ではなく音に聞き入っている自分に気が付く。

近くを散歩してペンションの風呂に入る。もちろん伊豆の別荘地の宿なので温泉だ。3 人くらいは浸かれる岩風呂は実に心地よい。

朝食はまたまた心暖まる料理が用意されている。オーナー曰く「定番の朝食です」と紹介してくれる。ご飯と味噌汁に地元で獲れた鯖の塩焼き、しらす、ハムエッグ、きんぴら、豆腐、ひじき、デザートにはヨーグルト、シャインマスカットも付いている。オーナーが 1 人で作ったというから凄い。



【朝食】

そして入れたてのコーヒーを最後にいただく。マグカップの大きさに対してコーヒーの量が少ないのが何故か面白い。

宿の前で記念撮影をしていると、バイク好きの友人が乗ってきたバイクをオーナーがしげしげと見ている。

バイクはドイツの BMW 社製で 1200CC のエンジンを積んでいる。日本ではあまり見かけないバイクだが、友人が 50 才の誕生日に自分へのご褒美として買ったというもので、この同期会旅行に時々乗ってきている。

ここでまたオーナーを交えたバイク談議が始まる。オーナーは仕事でドイツに頻繁に行っているようだが、それでも BMW のバイクはあまり見かけないらしい。



【友人の BMW のバイク】

それぞれがバイクや車に乗り込み、「また会おう」と言いながら別れる。短いながらも気の置けない仲間たちとの旅が終わる。

さあ来年はどこへ行こうか。

その前に年明けに新年会をやることが昨夜の夕食時に決まった。

■温泉評価委員会

私は温泉宿を評価する温泉評価委員会、通称「おひょい」を立ち上げている。それは温泉宿に泊まった時に組織される勝手気ままな委員会で、委員は同行した人になる。しかし今回は私 1 人で評価した。

評価は5段階でその基準は、5は驚き感動、4は普通に良い、3は可もなく不可もない、2は普通に悪い、そして1は失望落胆としている。

尚、総合点で3.75を超えればお勧めの宿としている。

ペンション「エマーユ」は泉質3、風呂4、料理4、コスパ5、サービス5、建物・部屋4、立地環境3、総合点4.00になった。温泉の湧出温度や泉質は不明。

■旅の記録

旅行は2022年10月28日（金）～10月29日（土）の1泊2日で実施した。入社同期のメンバー7人が参加した行程を以下に記す。

- ・1日目 メンバーの1人が6時に私の家に来て私の車で出発、小田原厚木道路から熱海を経由して8時前に「伊豆にらやまカントリークラブ」にチェックイン、以降6人までチェックインするが、1人から道を間違えて遅れるとの連絡が入る、スタート時間を変更して何とか7人でゴルフスタート、ゴルフ場で入浴後、16時ゴルフ場を出て17時ペンション「エマーユ」に到着直ぐに夕食、そして宴会に突入
- ・2日目 朝起きてペンションの温泉の岩風呂に入浴、7時30分朝食、朝食後現地解散、帰途で「漁港の駅 TOTOCO 小田原」に立ち寄り、11時30分に帰宅

費用はゴルフと交通費別で、ペンションは1泊2食とアルコール込みで1人当たり8000円になった。この価格は友人のコネクションにより特別料金らしく、通常はもう少し高いらしい。